

# 令和7年度大豆作柄判定試験結果（最終回）

令和 8 年 1 月 26 日  
大分県農林水産研究指導センター  
農業研究部 水田農業グループ

## 令和7年産大豆「ちくしB5号」（平坦地）の生育概況

### 【早播区（6月6日播種）】

開花期は摘芯有・無区ともに8月1日となり、摘芯の有無による差はみられなかった。  
成熟期の主茎長を摘芯有・無区で比較すると同程度であった。主茎節数は摘芯有区が多かった。また、分枝数は摘芯有区が摘芯無区より多かった。  
総莢数、稔実莢数は摘芯無区が摘芯有区より多くなり、百粒重は同程度、子実重は摘芯無区が摘芯有区と比べ重かった。  
検査等級は摘芯無区の大粒が3等、中粒は規格外、摘芯有区の大粒が規格外、中粒は規格外であった。等級の格付理由は両区ともに皮切れと虫害であった。

### 【標準播区（7月10日播種、前年差：±0日）】

開花期は前年と比べ3日遅かった。莢先熟となり、成熟期は判然としなかった。  
成熟期の主茎長は前年と比べ短く、主茎節数はやや少なく、分枝数は多かった。  
稔実莢数は前年より多く、百粒重は軽く、子実重は21.5kg/aで重かった（前年比：104）。  
検査等級は大粒が3等、中粒が規格外（皮切れ、虫害）であった。

### 【晩播区（7月25日播種、同差：+2日）】

開花期は前年より2日遅かった。莢先熟となり、成熟期は判然としなかった。  
成熟期の主茎長は前年と比べ長く、主茎節数は多く、分枝数は多かった。  
稔実莢数は前年より多く、百粒重は前年よりやや多く、子実重は16.8kg/aで軽かった（前年比：83）。  
検査等級は大粒が3等、中粒が規格外（皮切れ、虫害）であった。

表1 生育調査結果（ちくしB5号）

作 期	年	播 種 期	出 芽 期	開 花 期	成 熟 期	成熟期調査				収量調査				検査等級		
						主茎長	主茎 節数	1次 分枝数	倒伏 程度	總英数	稔実 英数	百粒重	子実重	大粒	中粒	
		月.日					cm	節	本/本	(0-4)	/㎡	/㎡	g	kg/a	(1-7)	(1-7)
摘 芯 無	早 播	2025	6.06	6.17	8.01	11.01	59.9	19.0	3.3	0	973	842	24.3	27.8	5.0	7.0
	早 播	2025	6.06	6.17	8.01	11.06	58.3	10.4	4.1	0	892	776	24.7	23.1	6.5	7.0
標 準 播	2025	7.10	7.20	8.23	-	41.7	12.0	2.7	0	805	698	27.1	21.5	5.0	7.0	
	前年	7.5	7.14	8.20	11.19	46.6	14.3	1.3	1	489	446	30.0	20.7	2.5	4.0	
	比・差	+5	+6	+3	-	90	-2.3	217	-1	165	156	91	104	2.5	3.0	
晚 播	2025	7.25	8.03	9.05	-	45.8	12.2	2.6	0	1032	642	30.9	16.8	5.0	7.0	
	前年	7.23	8.01	8.30	11.22	36	11.9	0.7	0.0	533	478	29.0	20.1	2.5	4.0	
	比・差	+2	+2	+6	-	127	0.3	378	±0.0	193	134	107	83	+2.5	+3.0	

注) 表中の比・差は前年との比・差を示す。符号がついているものは差、ついていないものを比を示す。

標準播、晩播の平年値は2024年の前年比のみ。

端数処理の関係で、差・比の表示値は計算した値とずれる場合がある。

倒伏程度は無、小、中、多、甚の5段階（0-4）で示す。

検査等級は、1等上中下、2等、3等、特定加工合格、規格外の7段階（1-7）で示す。

摘芯処理以降、早播摘芯有区は主茎長に替わって最長分枝長を（地際から最も高い分枝の生長点までの高さ）を計測した。

標準・晩播区の成熟期は英先熟により判然としなかったため、「-」を記載している。

表2 生育調査結果（フクユタカ、参考）

作期	年	播	出	開	成	成熟期調査				収量調査				検査等級	
		種	芽	花	熟	主茎長	主茎節数	1次分枝数	倒伏程度	総英数	稔実英数	百粒重	子実重	大粒	中粒
		月・日				cm	節	本/本	(0-4)	/㎡	/㎡	g	kg/a	(1-7)	(1-7)
標準播	2025	7.10	7.20	8.23	-	48	12.8	3.1	0.0	874	725	27.8	19.9	5.0	7.0
	平年	7.10	7.16	8.22	11.11	66	15.0	3.2	1.2	689	606	29.4	27.2	3.1	4.0
	比・差	±0	+4	+1		73	-2.2	98	-1.2	127	120	94	73	+1.9	+3.0
晩播	2025	7.25	8.03	9.05	-	40	11.3	4.2	0.0	1027	656	29.9	16.6	5.0	6.5
	平年	7.26	8.03	9.04	11.19	49	12.3	2.6	0.7	601	498	28.6	19.7	3.5	4.7
	比・差	-1	±0	+1		82	-1.0	161	-0.7	171	132	105	84	+1.5	+1.8

注) 標準播の平年値は、2014～2019年、2021～2023年の平均。晩播の平年値は、2014～2023年の平均。

表中の比・差は平年との比・差を示す。符号がついているものは差、ついていないものは比を示す。

端数処理の関係で、差・比の表示値は計算した値とずれる場合がある。

倒伏程度は、無、少、中、多、甚の5段階(0-4)で表示。

検査等級は、1等上中下、2等、3等、特定加工合格、規格外の7段階(1-7)で表示。

標準・晩播区の成熟期は英先熟により判然としなかったため、「-」を記載している。

## 1 気象概況（6月6半旬～11月6半旬 宇佐市北宇佐観測値 標高30m）

### 1) 気 温

6月1～2半旬、8月1～4半旬、10月6半旬以降を除き、期間を通じて平年を上回った。

平均気温の平年差(°C) 期間中：+1.9°C  
6月：+1.4°C，7月：+2.1°C，8月：+0.8°C，9月：+2.7°C，10月：+3.5°C，  
11月：+0.2°C

### 2) 降 水 量

6月2～3半旬、8月2～3半旬、10月6半旬は平年をやや上回る～上回って推移した。6月4、6半旬、7月、8月4～5半旬、9月2～6半旬、10月1～5半旬、11月1～6半旬は平年を下回って推移した。それ以外の半旬は平年並に推移した。

降水量の平年比(%) 期間中：50  
6月：97，7月：5，8月：125，9月：44，10月：75，11月：14

### 3) 日照時間

6月1、4、6半旬、7月、8月1半旬、4半旬～9月2半旬、10月2、3、6半旬、11月2、4～6半旬は平年を上回って推移した。6月2～3、5半旬、8月2半旬、9月5半旬～10月1半旬、10月4～5半旬、11月1、3半旬は平年を下回って推移した。それ以外の期間は平年並に推移した。

日照時間の平年比(%) 期間中：113  
6月：94 7月：160 8月：104 9月：97 10月：95 11月：111

## 2 生育・収量・品質概況（ちくしB5号）

### 1) 早播区（6月6日播種）

播種から出芽は良好であり、出芽期は6月17日であった。摘芯の有無で比較すると播種後60日の調査時には摘芯有区の最長分枝長と摘芯無区の主茎長では摘芯無区の主茎長が長くなった。

開花期は摘芯の有無に関わらず8月1日となった。開花期以降の気象では8月は気温平年と比べやや高い～高く推移し、降水量が8月4～5半旬、9月2～6半旬で平年を下回ったため、生育に影響がみられ花落ちが発生したと考えられた。成熟期は試験区の一部で莢先熟が確認されたが、摘芯の有無に関わらず11月1～2半旬であった。総莢数、捻実莢数は摘芯無区が摘芯有区より多くなり、百粒重は同程度、子実重は摘芯有区が摘芯無区と比べ重かった。

検査等級は摘芯無区の大粒が3等、中粒が規格外、摘芯有区の大粒は規格外、中粒は規格外であった。等級の格付理由は両区ともに皮切れと虫害であった。

## 2) 標準播区 (7月10日播種)

7月10日に播種を行った後、出芽は良であったが降雨が少なかったため、出芽後の枯死が散見された。出芽期は7月20日であった(前年差: +6日)。また、播種後および7月27日～29日に試験に支障がない生育にするため灌水を行った(キリコにて灌水朝・夕30分/1日)。

播種後55日目は主茎長が前年より低くなった(前年比: 主茎長98) (表7参照)。7月上旬播きでは、平年より高温および渇水の気候条件が長期間続いたため、生育初期～開花期まで生育不良傾向がみられ、開花期は8月23日と前年より3日遅くなった。

10月上旬の稔実莢数は前年より多かった(前年比: 195)。その後莢先熟を確認し、黄葉期、落葉期が判然としなかった。また、青立ち株の発生は中～多であった。青立ちおよび莢先熟の発生した要因は、気温と降水量が考えられた。気温は平年と比べ8月5半旬～10月5半旬までが高く推移したことや干ばつ傾向が続いた。そのため、カメムシ害を受ける期間の延長が考えられた。

前年と比較して収穫時生育調査の主茎長は低く、主茎節数はやや少なく、分枝数は多かった(同差比: 主茎長90、主茎節数-2.3、一次分枝数217)。稔実莢数は多く、百粒重は軽く、子実重は21.5kg/aで重かった(同比: 稔実莢数156、百粒重91、子実重104)。検査等級は大粒が3等、中粒が規格外(皮切れ、虫害)であった。

## 3) 晩播区 (7月25日播種)

播種後、降雨が少なかったため出芽がみられるまで灌水を実施した(7月29日～31日) 出芽は中程度であり、出芽期は8月3日(前年差: +2日)であった。播種後60日の主茎長は前年と同程度であった。(前年比: 主茎長98)

開花期は9月5日で前年より6日遅かった。10月上旬の稔実莢数は前年より多かった(前年比: 195) (表7参照)。黄葉期、落葉期、成熟期は莢先熟を確認し、判然としなかった。生育期間をとおして倒伏は発生しなかったが、青立ちの発生程度は多～甚であった。開花期以降10月5半旬まで気温は下がらなかったため、カメムシ害を受ける期間の延長が考えられた。

収穫時生育調査の主茎長は前年より高く、主茎節数は同程度、分枝数は多くなった(同差比: 主茎長127、主茎節数+0.3、一次分枝378)。稔実莢数は多く、百粒重はやや重く、子実重は16.8kg/aと軽かった(同比: 稔実莢数134、百粒重107、子実重83)。検査等級は大粒が3等、中粒が規格外(皮切れ、虫害)であった。

### 3. 試験方法

- (1) 供試品種                    ちくしB5号、フクユタカ（参考）
- (2) 播種期（基準日）    早播区      6月6日（6月10日±5日）  
標準播区    7月5日（7月10日±5日）  
晩播区      7月23日（7月25日±5日）
- (3) 生育調査時期            播種後15日、30日、45日、60日、成熟期
- (4) 耕種概要
- 1) 圃場条件                前々作水稻-前作大麦（麦稈すき込み）
- 2) 栽植密度               早播区          9.5本/m<sup>2</sup>（条間70cm×株間30cm）  
標準播区      14.3本/m<sup>2</sup>（条間70cm×株間20cm）  
晩播区          19.0本/m<sup>2</sup>（条間70cm×株間15cm）  
                                1株2本（4粒手播、出芽後2本仕立て）
- 3) 施肥体系               N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O：0-8-8（kg/10a）、全量基肥施用
- 4) 中耕培土               早播区          2回（7月2日、7月15日）  
標準播区      2回（8月6日、8月25日）  
晩播区          1回（8月25日）
- 5) 摘芯処理                早播区    7月22日（本葉が7～11葉期に実施）

表3 病虫害防除の実施状況

播種期	散布日 (月.日)	種類	使用薬剤	濃度、散布量
早播	6.05	種子消毒	クルーザーMAXX	8mL/kg（種子塗布）
	6.04	害虫防除	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a（土壌混和）
	6.06	雑草防除	ラクサー乳剤	800mL/100L/10a
	8.29	害虫防除	プレバソンフロアブル	40mL/160L/10a
	8.29	害虫防除	キラップフロアブル	80mL/160L/10a
標準播	7.09	種子消毒	クルーザーMAXX	8mL/kg（種子塗布）
	7.09	害虫防除	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a（土壌混和）
	7.10	雑草防除	ラクサー乳剤	800mL/100L/10a
	8.29	害虫防除	プレバソンフロアブル	40mL/160L/10a
	8.29	害虫防除	キラップフロアブル	80mL/160L/10a
晩播	7.23	種子消毒	クルーザーMAXX	8mL/kg（種子塗布）
	7.24	害虫防除	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a（土壌混和）
	7.25	雑草防除	ラクサー乳剤	800mL/100L/10a
	8.29	害虫防除	プレバソンフロアブル	40mL/160L/10a
	8.29	害虫防除	キラップフロアブル	80mL/160L/10a

表4 生育ステージ及び中耕培土の実施状況(ちくしB5号、早播)

作 期	年	播種期	出芽始	出芽期	出芽 日数	出芽揃	出芽 良否	中耕培土 ①	播種後 日数	中耕培土 ②	播種後 日数	開花期	播種後 日数	黄葉期	播種後 日数	落葉期	播種後 日数	成熟期	播種後 日数	
		月.日	月.日	月.日	日	月.日		月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日	
摘 心 無	早 播	2025	6.06	6.14	6.17	11	6.19	良	7.02	(+26)	7.15	(+39)	8.01	(+56)	10.15	(+131)	10.24	(+140)	11.06	(+153)
摘 心 有	早 播	2025	6.06	6.14	6.17	11	6.19	良	7.02	(+26)	7.15	(+39)	8.01	(+56)	10.15	(+131)	10.23	(+139)	11.01	(+148)

注) 表中の差は、平年との差を示す。次表以降の差、比も同様。

表5 生育ステージ及び中耕培土の実施状況 (ちくしB5号、標準播・晩播)

作 期	年	播種期	出芽始	出芽期	出芽 日数	出芽揃	出芽 良否	中耕培土 ①	播種後 日数	中耕培土 ②	播種後 日数	開花期	播種後 日数	黄葉期	播種後 日数	落葉期	播種後 日数	成熟期	播種後 日数
		月.日	月.日	月.日	日	月.日		月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日
標 準 播	2025	7.10	7.17	7.20	10	7.22	良	8.06	(+27)	8.25	(+46)	8.23	(+44)	-	-	-	-	-	-
	差	+5	+3	+5	±0	+5		+6	+1	+17	+12	+3	-2		-		-		-
	2024	7.05	7.14	7.15	10	7.17	中	7.31	(+26)	8.08	(+34)	8.20	(+46)	10.21	(+108)	11.14	(+132)	11.19	(+137)
晩 播	2025	7.25	8.01	8.03	9	8.04	中	8.25	(+31)	-		9.05	(+42)	-	-	-	-	-	-
	差	+2	±0	+2	±0	+2	-	+9	+7	-	-	+6	+4		-		-		-
	2024	7.23	8.01	8.01	9	8.02	中	8.16	(+24)	8.16	(+0)	8.30	(+38)	10.28	4.6	11.07	(+107)	11.22	(+122)

注) 表中の差は、平年との差を示す。次表以降の差、比も同様。

黄葉期以降、枯れ熟れおよび英先熟が確認され生育ステージの把握が困難だったため、データ無しとなった。

図1 生育ステージ (ちくし B5 号)

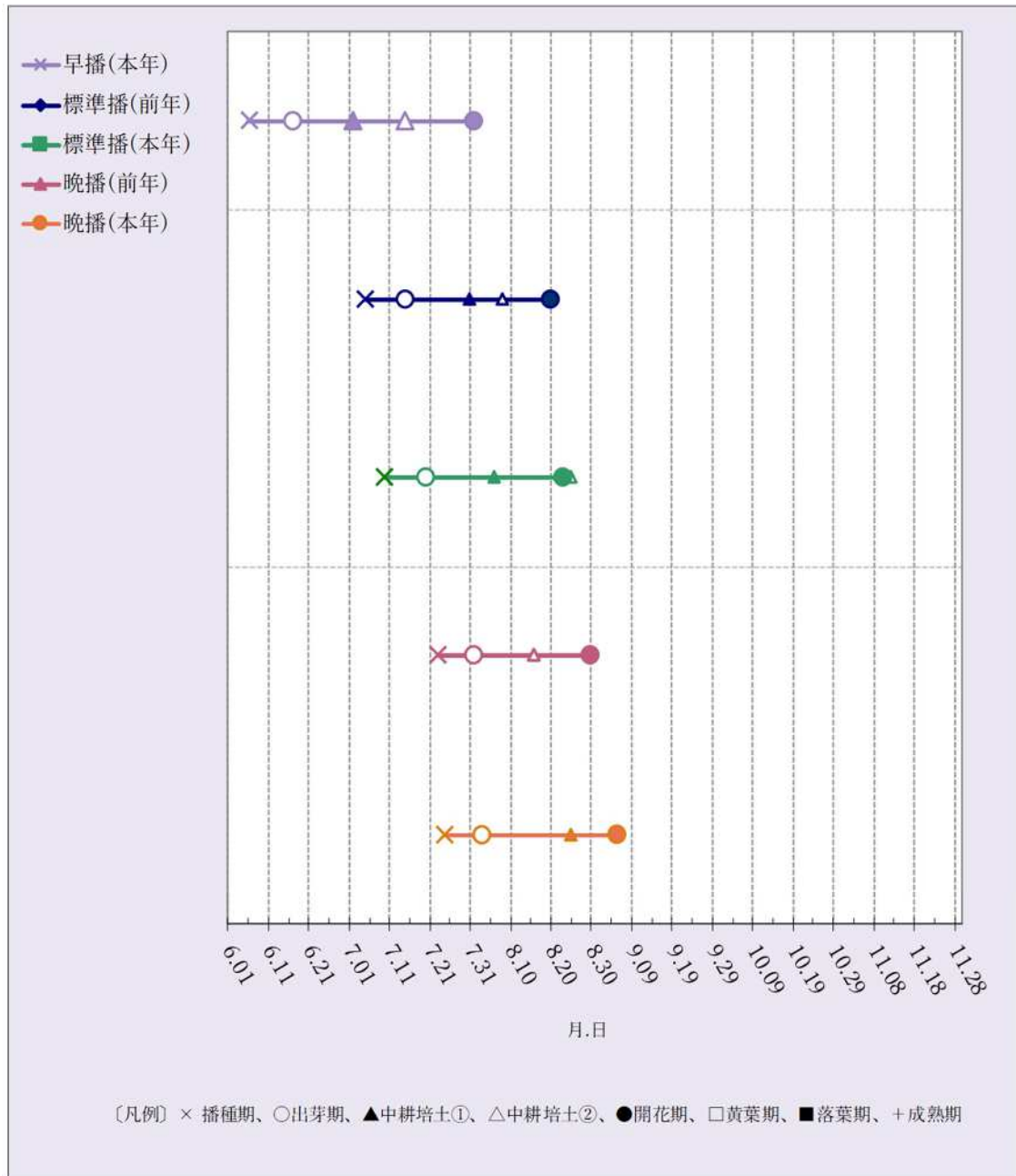




表6 生育調査結果(ちくしB5号、早播)

作 期	年	播 種 期	調査①[+15]				調査②[+30]				調査③[+45]						調査④[+60]						10月上旬				
			調査 月日	播種後 日数	主茎長	主茎節数	調査 月日	播種後 日数	主茎長	主茎節数	1次 分枝数	調査 月日	播種後 日数	摘芯 月日	主茎長	最長分枝長	主茎節数	1次 分枝数	調査 月日	播種後 日数	主茎長	最長分枝長	主茎節数	1次 分枝数	LAI	乾物重	総実数
			月.日	日	cm	節	月.日	日	cm	節	本/本	月.日	日	月.日	cm	cm	節	本/本	月.日	日	cm	cm	節	本/本	m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	g/m <sup>2</sup>	/m <sup>2</sup>
摘 芯 無	早 播	2025	6.06	6.20 (+14)	13	3.7	7.07	(+31)	22	7.3	0.0	7.23	(+47)	-	31	-	9.6	-	8.06	(+61)	39	-	13.4	-	-	-	956
摘 芯 有	早 播	2025	6.06	6.20 (+14)	13	3.5	7.07	(+31)	21	7.5	0.1	7.23	(+47)	7.22	21	28.5	7.1	-	8.06	(+61)	34	35.8	10.3	-	-	-	817

(注) 表中の[+15]、[+30]、[+45]、[+60]は播種後日数を示す。

主茎長は、子葉節からの長さを基本として、中耕培土により子葉節が隠れれば、地際からの長さ。

摘芯有区は摘心後の主茎長および最長分枝長（地際から最も高い分枝の生長点までの高さ）を計測した。

2025年の1次分枝数、LAI、乾物重はデータ無しとなった。

表7 生育調査結果(ちくしB5号、標準播・晩播)

作 期	年	播 種 期	調査①[+15]				調査②[+30]				1次 分枝数 本/本	調査③[+45]				1次 分枝数 本/本	調査④[+60]						10月上旬	
			調査 月日	播種後 日数	主茎長	主茎節数	調査 月日	播種後 日数	主茎長	主茎節数		調査 月日	播種後 日数	主茎長	主茎節数		調査 月日	播種後 日数	主茎長	主茎節数	1次 分枝数	LAI	乾物重	稈実数
			月.日	日	cm	節	月.日	日	cm	節		月.日	日	cm	節		月.日	日	cm	節	本/本	m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	g/m <sup>2</sup>	/m <sup>2</sup>
標 準 播	2025	7.10	7.27	(+17)	14	3.3	8.09	(+30)	16	5.1	0.0	8.23	(+44)	39	9.4	-	9.03	(+55)	41	10.2	-	-	-	845
	差	+5	+8	+3	5.4		+4	-1	-0.1		±0.0	+3	-2	+8.7			±0	-5	-0.7					+412
	比				160				99					129					98					195
晩 播	2024	7.05	7.19	(+14)	9	-	8.05	(+31)	16	-	0.1	8.20	(+46)	30	-	0.8	9.03	(+60)	42	-	2.0	1.4	154	433
	2025	7.25	8.09		14	3.2	8.23		27	7.2	0.1	9.03	(+40)	43	10.5	-	9.19	(+56)	47	14.0	-	-	-	816
	差	+2	+2	-15	+2.2		+1	-30	+8.8		+0.1	-3	-5	+14.7			-2	-4	+13.4					+375
	比				118				149		-			153					139					185
晩 播	2024	7.23	8.07	(+15)	12	-	8.22	(+30)	18	-	0.0	9.06	(+45)	28	-	0.1	9.21	(+60)	34	-	1.4	1.9	146	441

(注) 表中の[+15]、[+30]、[+45]、[+60]は播種後日数を示す。

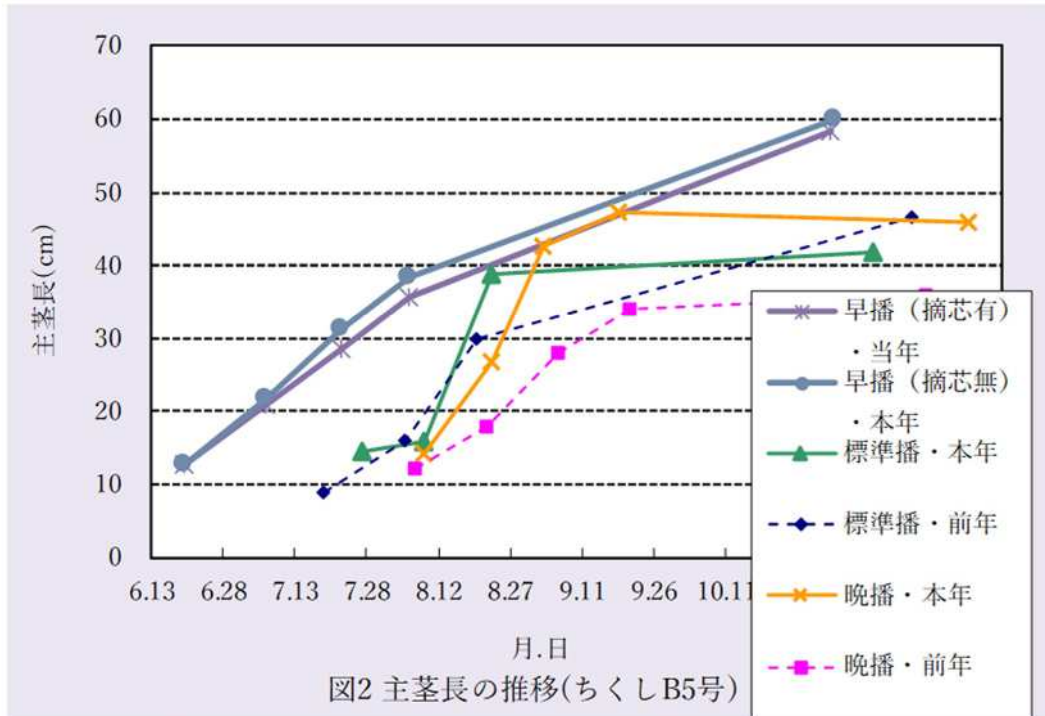
主茎長は、子葉節からの長さを基本として、中耕培土により子葉節が隠れれば、地際からの長さ。

葉数は、第1本葉を1として、展開した葉の数を示す(稲の葉齢に相当)。

2025年の1次分枝数、LAI、乾物重はデータ無しとなった。



図 2～3 生育調査結果（ちくし B5 号）



注) 摘芯有区は摘心後の主茎長および最長分枝長（地際から最も高い分枝の生長点までの高さ）を計測した。

摘芯有区の摘芯処理以降のデータ（+45, 60日調査）は最長分枝長を記載。

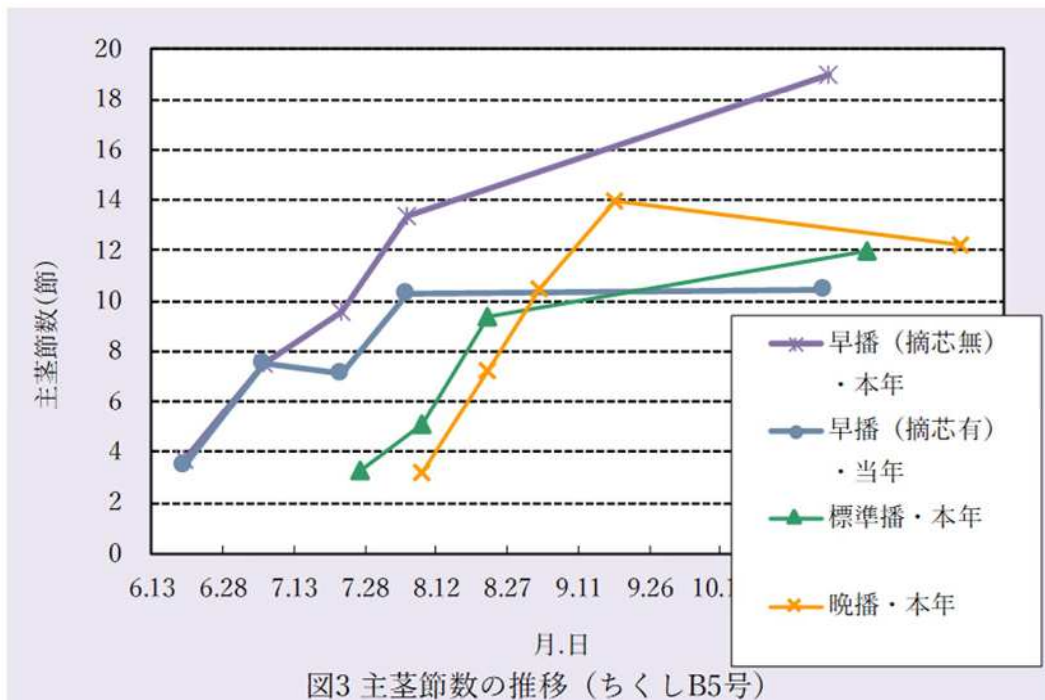


表8 収穫時生育調査結果（ちくしB5号、早播）

作期	年	主茎長 cm	主茎節数 節	1次分枝数 本	2次分枝数 本	最下着莢高① cm	最下着莢高② cm	茎の太さ mm	倒伏程度 (0-4)	
摘 芯 無	早 播	2025	60	19.0	3.3	0.1	12.7	-	11.2	0
摘 芯 有	早 播	2025	58	10.4	4.1	0.2	10.3	-	10.1	0

注) 最下着莢高①は子葉節から、最下着莢高②は地際から最下着莢節までの高さを示す。

茎の太さは、子葉節と初生葉節の中間の長径を示す。

2025年の最下着莢高②はデータ無しとなった。

表9 収穫時生育調査結果（ちくしB5号、標準播・晩播）

作期	年	主茎長 cm	主茎節数 節	1次分枝数 本	2次分枝数 本	最下着莢高① cm	最下着莢高② cm	茎の太さ mm	倒伏程度 (0-4)
標 準 播	2025	42	12.0	2.7	0.1	8.9	-	6.7	0
	差		-2.3						-1.0
	比	90		217		84		102	
	2024	47	14.3	1.3	0.0	10.6	13.8	6.6	1.0
晩 播	2025	46	12.2	2.6	0.0	8.6	-	6.3	0
	差		+0.3						±0.0
	比	127		378		126		112	
	2024	36	11.9	0.7	0.0	6.8	8.6	5.6	0.0

注) 最下着莢高①は子葉節から、最下着莢高②は地際から最下着莢節までの高さを示す。

茎の太さは、子葉節と初生葉節の中間の長径を示す。

2025年の最下着莢高②はデータ無しとなった。

表10 収量調査結果（ちくしB5号、早播）

作期	年	総莢数		稔実莢数	稔実莢率	稔実莢重	百粒重	子実重	同左 平年比	同左 大粒	大粒 割合	同左 中粒	中粒 割合	同左 小粒	小粒 割合	屑重	茎重	粒茎比	
		/株	/㎡	/㎡	%	g/㎡	g	kg/a		kg/a	%	kg/a	%	kg/a	%	kg/a	kg/a		
摘 芯 無	早 播	2025	204	973	842	86.5	455	24.3	27.8	-	5.5	19.8	12.5	44.8	9.8	35.3	3.8	14.3	1.9
摘 芯 有	早 播	2025	187	892	776	86.9	400	24.7	23.1	-	4.7	22.7	8.4	40.5	7.6	36.8	4.5	14.5	1.6

注) 子実重は水分15%、大粒は粒径7.9mm以上、中粒は7.9mm未満～7.3mm以上、小粒は7.3mm未満～5.5mm以上を示す。  
同左平年比は、各播種期の平年比を示す。

表11 収量調査結果（ちくしB5号、標準播・晩播）

作期	年	総莢数		稔実莢数	稔実莢率	稔実莢重	百粒重	子実重	同左 平年比	同左 大粒	大粒 割合	同左 中粒	中粒 割合	同左 小粒	小粒 割合	屑重	茎重	粒茎比
		/株	/㎡	/㎡	%	g/㎡	g	kg/a		kg/a	%	kg/a	%	kg/a	%	kg/a	kg/a	
標 準 播	2025	113	805	698	86.7	367	27.1	21.5	104	6.2	31.5	6.5	33.4	6.9	35.0	5.9	7.3	2.9
	差				-4.6				-		-3.5		-3.8		+18.5			-0.4
	比	165	165	156	95	120	91	104	-	84		84		122		701	117	
晩 播	2024	69	489	446	91.3	306	30.0	20.7	-	7.3	35.1	7.7	37.3	5.6	27.7	0.8	6.2	3.3
	2025	108	1032	642	62.2	337	30.9	16.8	83	9.8	57.0	4.5	26.4	2.8	16.5	3.8	10.1	1.7
	差				+61.3						+33.3		-24.5		-8.8			-2.5
	比	193	193	134		109	107	83		204		44		56		365	147	
	2024	56	533	478	0.9	309	29.0	20.1	-	4.8	23.7	10.2	50.9	5.1	25.4	1.1	6.8	4.2

注) 子実重は水分15%、大粒は粒径7.9mm以上、中粒は7.9mm未満～7.3mm以上、小粒は7.3mm未満～5.5mm以上を示す。  
同左平年比は、各播種期の平年比を示す。

表12 品質調査結果（ちくしB5号、早播）

作期	年	等級		病害等					成分調査			
		大粒	中粒	紫斑	褐斑	裂皮	虫害	しわ	粗タンパク質含有率	粗脂肪含有率	全糖含有率	
		(1-7)	(1-7)	(0-4)	(0-4)	(0-4)	(0-4)	(0-4)	%	%	%	
摘 芯 無	早播	2025	5.0	7.0	0.5	0.3	1.5	1.3	0.8	42.2	9.5	22.3
摘 芯 有	早播	2025	6.5	7.0	1.0	0.8	1.0	1.5	1.0	42.3	9.2	22.5

注) 等級は1等上中下、2等、3等、特定加工合格、規格外の7段階で示す。

病害等は、無、少、中、多、甚の5段階で評価した。

粗タンパク質含有率は、近赤外分光分析により、換算係数6.25を乗じた。

表13 品質調査結果（ちくしB5号、標準播・遅播）

作期	年	等級		病害等					成分調査		
		大粒 (1-7)	中粒 (1-7)	紫斑 (0-4)	褐斑 (0-4)	裂皮 (0-4)	虫害 (0-4)	しわ (0-4)	粗タンパク質含有率 %	粗脂肪含有率 %	全糖含有率 %
標 準 播	2025	5.0	7.0	0.8	0.5	0.5	1.5	1.3	44.9	9.7	21.3
	差	+2.5	+3.0	-0.3	-0.5	-0.5	+0.5	+0.3	+1.0	-10.9	-0.3
	2024	2.5	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	43.9	20.7	21.5
晩 播	2025	5.0	7.0	0.5	0.8	1.0	1.3	0.8	45.0	10.5	20.4
	差	+2.5	+3.0	-0.5	+0.5	+0.3	+0.3	-0.3	+3.3	-11.0	-0.8
	2024	2.5	4.0	1.0	0.3	0.8	1.0	1.0	41.8	21.6	21.2

注) 等級は1等上中下、2等、3等、特定加工合格、規格外の7段階で示す。

病害等は、無、少、中、多、甚の5段階で評価した。

粗タンパク質含有率は、近赤外分光分析により、換算係数6.25を乗じた。

表14 生育ステージ及び中耕培土の実施状況（フクユタカ、参考）

作 期	年	播種期	出芽始	出芽期	出芽 日数	出芽揃	出芽 良否	中耕培土 ①	播種後 日数	中耕培土 ②	播種後 日数	開花期	播種後 日数	黄葉期	播種後 日数	落葉期	播種後 日数	成熟期	播種後 日数
		月.日	月.日	月.日	日	月.日		月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日	月.日	日
標 準 播	2025	7.10	7.17	7.20	10	7.22	良	8.06	(+27)	8.25	(+46)	8.23	(+44)	10.29	(+111)	-	-	-	-
	差	±0	+2	+4	+4	+4	-	+6	+6	+15	+16	+1	+1	+2	+3	-	-	-	-
	平年	7.10	7.15	7.16	6	7.18	-	7.31	(+21)	8.10	(+30)	8.22	(+43)	10.27	(+108)	11.01	(+114)	11.09	(+123)
	2024	7.05	7.14	7.15	10	7.17	中	7.31	(+26)	8.08	(+34)	8.22	(+43)	11.6	(+119)	11.17	(+135)	11.25	(+138)
	2023	7.18	7.22	7.23	5	7.25	良	8.07	(+20)	8.15	(+28)	8.27	(+40)	10.24	(+91)	-	-	11.02	(+100)
	2022	7.12	7.17	7.18	6	7.18	良	8.05	(+24)	8.12	(+31)	8.24	(+43)	-	-	-	-	11.15	(+126)
	2021	7.07	7.11	7.13	6	7.14	良	7.27	(+20)	8.03	(+27)	8.21	(+45)	-	-	-	-	10.26	(+111)
	2020	7.15	7.18	7.19	4	7.20	良	7.31	(+16)	8.07	(+23)	8.22	(+38)	-	-	10.28	(+105)	11.09	(+117)
	2019	7.08	7.13	7.14	6	7.14	良	7.26	(+18)	8.05	(+28)	8.19	(+42)	-	-	10.26	(+110)	11.04	(+119)
	2018	7.12	7.18	7.22	10	7.30	中	8.03	(+22)	8.13	(+32)	8.25	(+44)	10.29	(+109)	11.01	(+112)	11.07	(+118)
	2017	7.11	7.15	7.16	5	7.17	良	7.31	(+20)	8.08	(+28)	8.21	(+41)	-	-	10.31	(+112)	11.13	(+125)
	2016	7.07	7.09	7.11	4	7.11	良	7.28	(+21)	8.08	(+32)	8.18	(+42)	-	-	11.04	(+120)	11.18	(+134)
	2015	7.10	7.14	7.15	5	7.16	良	7.30	(+20)	8.11	(+32)	8.22	(+43)	10.25	(+107)	11.03	(+116)	11.16	(+129)
	2014	7.11	7.15	7.16	5	7.17	良	7.30	(+19)	8.12	(+32)	8.23	(+43)	10.28	(+109)	11.04	(+116)	11.10	(+122)
晩 播	2025	7.25	8.01	8.03	9	8.04	中	8.25	(+31)	-	-	9.05	(+42)	11.17	(+106)	-	-	-	-
	差	-1	-1	±0	+1	-1	-	+7	+8	-	-	+2	+3	+14	+6	-	-	-	-
	平年	7.26	8.02	8.03	8	8.05	-	8.18	(+23)	8.24	(+30)	9.03	(+39)	11.03	(+100)	11.10	(+107)	11.19	(+115)
	2024	7.23	8.01	8.01	9	8.02	中	8.16	(+24)	-	-	9.02	(+41)	11.01	(+92)	11.12	(+112)	11.22	(+135)
	2023	7.25	7.30	7.31	6	8.05	中	8.15	(+21)	8.22	(+28)	8.31	(+37)	-	-	-	-	11.02	(+100)
	2022	7.27	8.04	8.05	9	8.06	良	8.26	(+30)	-	-	9.05	(+40)	-	-	-	-	11.24	(+120)
	2021	7.27	8.04	8.05	9	8.08	良	8.23	(+27)	8.30	(+34)	9.05	(+40)	-	-	-	-	11.09	(+105)
	2020	7.30	8.04	8.06	7	8.08	良	8.14	(+15)	8.26	(+27)	9.04	(+36)	-	-	11.07	(+100)	11.24	(+117)
	2019	7.29	8.03	8.05	7	8.07	良	8.22	(+24)	-	-	9.07	(+40)	-	-	11.15	(+109)	11.21	(+115)
	2018	7.25	8.02	8.04	10	8.06	良	8.13	(+19)	8.20	(+26)	9.03	(+40)	-	-	11.08	(+106)	11.20	(+118)
	2017	7.25	7.29	7.31	6	8.04	良	8.14	(+20)	8.21	(+27)	9.02	(+39)	-	-	11.05	(+103)	11.15	(+113)
	2016	7.22	8.01	8.01	10	8.02	良	8.16	(+25)	8.23	(+32)	9.02	(+42)	-	-	11.14	(+115)	12.01	(+132)
	2015	7.28	8.02	8.03	6	8.05	良	8.24	(+27)	-	-	9.02	(+36)	11.03	(+98)	11.10	(+105)	11.20	(+115)
	2014	7.25	8.01	8.02	8	8.03	良	8.14	(+20)	8.25	(+31)	9.03	(+40)	11.04	(+102)	11.10	(+108)	11.19	(+117)

注) 表中の差は、平年との差を示す。次表以降の差、比も同様。

標準播の平年値は、2014～2019年、2021～2023年の平均。晩播の平年値は、2014～2023年の平均。

2020年度の標準播は不耕起播種で行い、施肥は中耕培土と同日（8月7日）に追肥として施用した。

図4 生育ステージ（フクユタカ、参考）

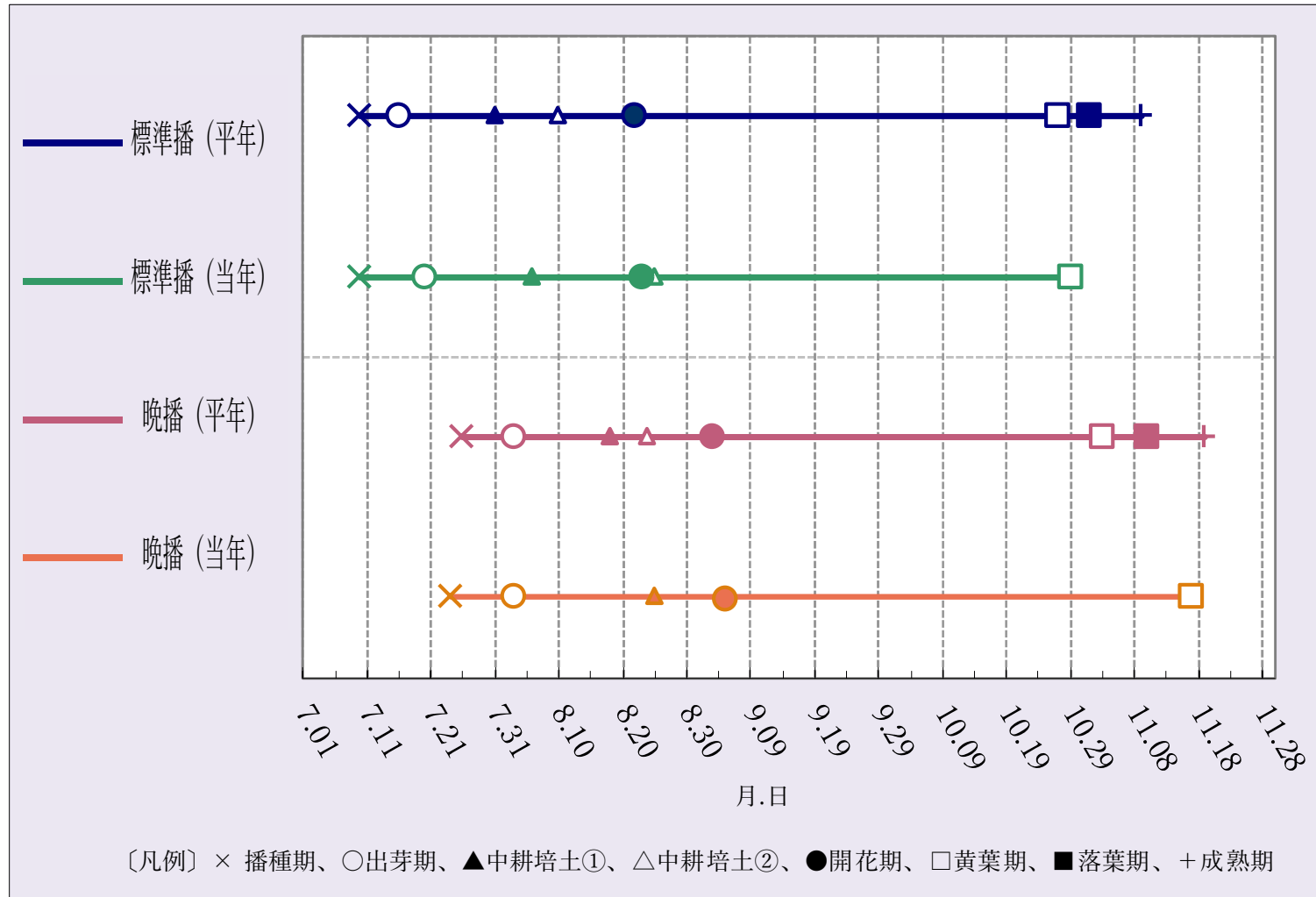


図 5～6 生育調査結果（フクユタカ、参考）

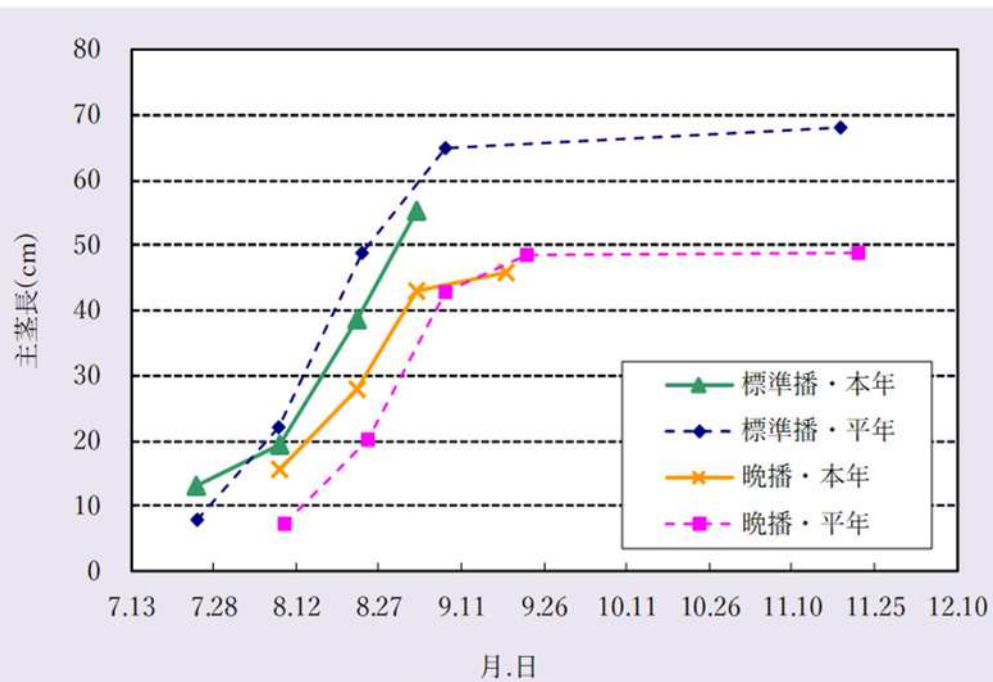


図5 主茎長の推移（フクユタカ、参考）

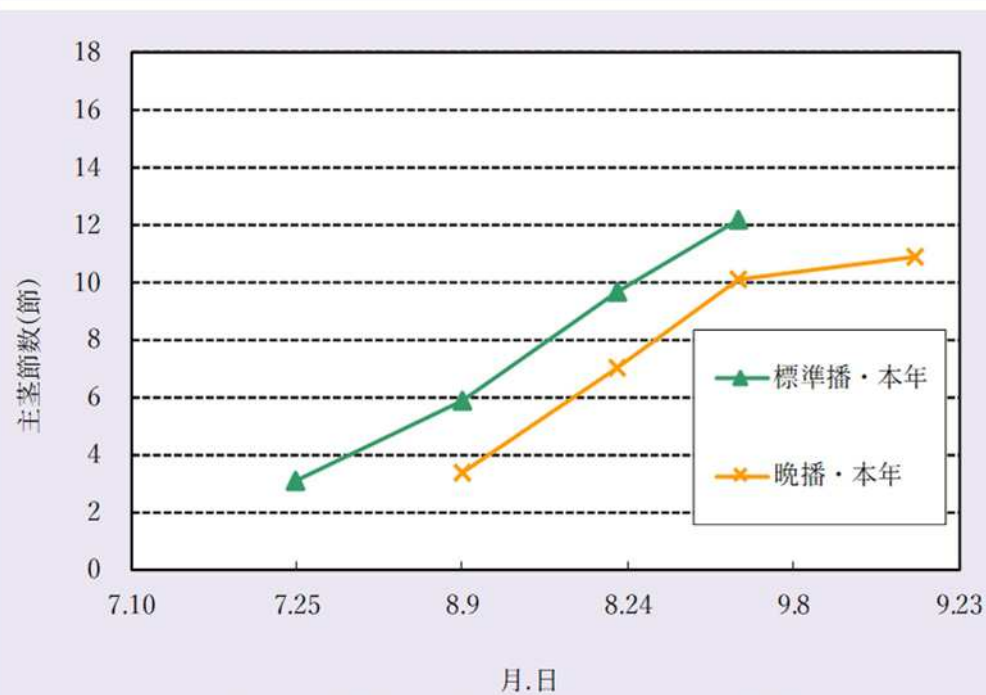


図6 主茎節数の推移（フクユタカ、参考）

注）主茎節数は2025年より計測開始（2024年以前は葉数）のため、平年値は無し。



表16 収穫時生育調査結果（フクユタカ、参考）

作期	年	主茎長 cm	主茎節数 節	1次分枝数 本	2次分枝数 本	最下着莢高① cm	最下着莢高② cm	茎の太さ mm	倒伏程度 (0-4)
標準 播	2025	48	12.8	3.1	0.0	9.7	-	6.7	0.0
	差		-2.2						-1.2
	比	73		97		64		92	
	平年	66	15.0	3.2	0.0	15.3	15.1	7.3	1.2
	2024	50	14.3	1.9	0.0	8.0	10.8	6.9	2.0
	2023	54	14.4	3.0	0.0	13.9	12.5	6.6	0.0
	2022	66	15.5	2.9	0.0	15.0	16.2	7.5	3.5
	2021	76	15.1	3.0	0.0	16.0	15.2	7.9	0.0
	2020	54	14.4	3.6	0.0	15.5	14.0	6.3	0.0
	2019	68	15.5	3.1	0.0	17.2	15.0	7.3	1.0
	2018	59	15.5	3.3	0.0	13.6	15.2	6.6	1.5
	2017	79	16.3	4.1	0.0	18.6	18.7	7.9	3.0
	2016	59	12.2	2.6	0.0	15.7	14.2	7.6	0.0
	2015	61	15.1	3.1	0.0	11.9	10.2	7.1	0.0
	2014	72	15.6	4.1	0.0	15.6	19.2	7.5	1.5
晩 播	2025	40	11.3	4.2	0.4	16.2	-	6.3	0.0
	差		-0.8						-0.6
	比	84		173		129		110	
	平年	48	12.2	2.4	0.0	12.5	11.3	5.7	0.6
	2024	33	10.7	0.7	0.0	6.7	7.9	5.2	0.0
	2023	51	13.5	2.0	0.0	13.6	10.5	5.7	0.0
	2022	44	12.3	2.5	0.0	10.4	9.3	5.6	2.0
	2021	36	11.3	3.1	0.0	11.9	10.9	5.2	0.0
	2020	41	11.9	2.0	0.0	10.4	8.7	5.1	0.0
	2019	59	12.7	2.3	0.0	13.6	12.7	6.6	0.0
	2018	44	12.1	3.0	0.0	13.5	10.6	5.9	1.0
	2017	44	11.9	3.8	0.1	10.8	10.4	5.7	1.0
	2016	57	11.3	1.3	0.0	13.8	14.0	6.3	0.0
	2015	54	13.8	2.1	0.0	15.1	12.6	6.0	0.0
	2014	64	12.5	3.9	0.0	17.9	17.0	5.7	2.5

注) 最下着莢高①は子葉節から、最下着莢高②は地際から最下着莢節までの高さを示す。

茎の太さは、子葉節と初生葉節の中間の長径を示す。

2025最下着莢高②はデータ無しとなった。

表17 収量調査結果（フクユタカ、参考）

作期	年	総実数		稔実実数	稔実実率	稔実実重	百粒重	子実重	同左 平年比	同左 大粒	大粒 割合	同左 中粒	中粒 割合	同左 小粒	小粒 割合	屑重	茎重	粒茎比
		/株	/㎡	/㎡	%	g/㎡	g	kg/a		kg/a	%	kg/a	%	kg/a	%	kg/a	kg/a	
標準 播	2025	122	874	725	82.9	386	27.8	19.9		7.4	34.4	7.6	35.4	6.5	30.3	6.2	12.1	1.7
	差				-5.2						-13.6		+1.8		+11.8			-0.8
	比	129	130	122	94	103	95	77	-	54		91		161		683	106	
	平年	95	675	594	88.1	374	29.2	26.1	100	13.7	47.9	8.4	33.6	4.0	18.4	0.9	11.4	2.4
	2024	69	489	446	91.3	306	30.0	20.7	102	7.3	35.1	7.7	37.3	5.6	27.7	0.8	6.2	3.3
	2023	86	612	567	92.6	367	29.5	24.2	87	12.0	49.7	8.9	36.6	3.3	13.7	0.7	8.4	2.9
	2022	101	720	509	70.7	290	27.7	17.9	63	6.0	33.0	7.3	40.8	4.7	26.2	1.5	14.7	1.2
	2021	97	694	651	93.8	301	22.2	20.2	70	2.3	11.1	8.1	39.6	9.8	49.3	0.5	13.9	1.5
	2020	85	608	548	90.0	356	30.5	24.6	83	15.0	61.0	6.8	27.6	2.8	11.4	1.0	7.4	3.3
	2019	87	623	564	90.5	305	25.3	20.9	71	2.0	9.3	10.8	51.7	8.1	38.9	1.3	12.3	1.7
	2018	97	694	603	87.0	429	29.4	30.0	102	19.4	64.5	8.8	29.4	1.8	6.1	1.0	9.1	3.3
	2017	101	712	661	91.6	448	32.8	32.0	109	24.2	75.4	6.0	18.7	1.9	5.9	0.7	13.3	2.4
	2016	107	762	692	90.9	476	32.1	35.2	119	24.6	69.7	9.0	25.5	1.7	4.7	0.8	12.8	2.8
	2015	103	735	613	83.4	428	30.2	30.0	102	14.9	49.7	12.3	41.0	2.8	9.3	1.4	10.6	2.8
	2014	99	707	630	89.2	395	33.1	29.4	100	24.1	82.0	4.6	15.6	0.7	2.4	0.3	12.7	2.3
晩 播	2025	108	1027	656	63.8	297	29.9	16.6		7.5	45.3	5.6	33.7	3.5	21.0	7.8	11.3	1.5
	差				-21.2						-5.1		-2.5		+3.6			-1.4
	比	173	173	131	75	97	104	83	-	75		81		117		553	147	
	平年	62	594	500	85.1	306	28.6	20.0	100	10.1	50.4	6.9	36.3	3.0	17.4	1.4	7.7	2.8
	2024	56	533	478	89.6	309	29.0	20.1	167	4.8	23.7	10.2	50.9	5.1	25.4	1.1	6.8	4.2
	2023	63	598	543	90.8	345	28.7	22.4	109	9.3	41.5	10.4	46.7	2.7	11.8	0.7	6.8	3.3
	2022	81	768	426	55.5	220	27.1	12.6	63	3.8	29.7	6.0	47.9	2.8	22.4	1.7	7.3	1.7
	2021	50	472	438	92.9	198	21.8	12.0	53	1.4	11.5	4.7	38.7	6.0	49.8	0.9	6.2	1.9
	2020	55	525	475	90.5	298	29.5	20.5	87	10.2	49.8	6.8	33.1	3.5	17.1	1.0	5.2	3.9
	2019	60	574	447	77.9	203	28.4	9.9	42	4.3	43.5	3.5	35.6	2.0	20.5	3.1	11.3	0.9
	2018	66	627	499	79.6	374	30.6	26.5	112	18.3	69.1	5.7	21.4	2.5	9.4	0.5	7.4	3.6
	2017	67	641	587	91.7	376	29.3	25.6	109	13.4	52.4	8.5	33.2	3.7	14.5	0.4	6.5	4.0
	2016	65	616	591	96.0	394	30.3	27.6	117	16.3	59.0	9.2	33.3	2.1	7.7	1.9	10.6	2.6
	2015	57	547	476	87.1	286	28.6	16.5	70	7.9	47.9	6.7	40.9	1.8	11.0	3.7	7.1	2.3
	2014	67	638	537	84.2	362	31.8	26.1	111	21.0	80.5	4.5	17.3	0.5	1.9	0.6	9.1	2.9

注) 子実重は水分15%、大粒は粒径7.9mm以上、中粒は7.9mm未満～7.3mm以上、小粒は7.3mm未満～5.5mm以上を示す。

同左平年比は、各播種期の平年比を示す。

2020年晩播については、鹿による食害がみられた試験区を除いて坪刈調査を行った。

表18 品質調査結果（フクユタカ、参考）

作期	年	等級		病害等					成分調査		
		大粒 (1-7)	中粒 (1-7)	紫斑 (0-4)	褐斑 (0-4)	裂皮 (0-4)	虫害 (0-4)	しわ (0-4)	粗タンパク質含有率 %	粗脂肪含有率 %	全糖含有率 %
標準播	2025	5.0	7.0	0.8	0.5	1.0	1.3	0.8	44.7	9.9	20.9
	差	+1.9	+3.0	+0.7	+0.2	+0.4	+0.7	-0.0	+0.5	-10.6	+0.9
	平年	3.1	4.0	0.0	0.3	0.6	0.5	0.8	44.2	20.5	20.1
	2024	3.0	5.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	45.0	19.7	21.9
	2023	5.5	5.5	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	44.6	20.6	21.0
	2022	2.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.8	42.5	20.1	22.2
	2021	4.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	45.4	20.9	17.5
	2020	2.0	4.0	0.0	0.0	0.3	1.0	0.8	44.4	20.0	20.4
	2019	4.0	2.0	0.0	0.3	0.8	0.5	0.8	43.2	21.9	18.3
	2018	2.0	4.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.8	44.8	19.8	21.2
	2017	4.5	6.5	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	44.6	20.4	20.2
	2016	2.0	4.5	0.0	0.5	0.5	0.6	0.1	43.2	21.5	18.9
	2015	3.0	4.0	0.0	0.5	0.6	0.4	1.0	44.8	19.7	21.2
	2014	3.0	2.0	0.1	0.3	1.5	0.5	0.0	45.1	19.9	21.0
晩播	2025	5.0	6.5	0.5	0.8	1.3	1.0	0.5	45.8	10.4	19.8
	差	+1.5	+1.9	±0.0	+0.5	+0.3	+0.3	+0.0	+0.8	-9.2	-1.1
	平年	3.5	4.6	0.1	0.2	0.9	0.7	0.5	44.9	19.7	20.9
	2024	2.0	4.0	1.0	0.3	1.0	1.0	0.8	43.6	20.7	21.4
	2023	5.0	5.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.5	43.8	20.6	21.7
	2022	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5	44.1	18.7	23.2
	2021	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	43.8	20.9	17.7
	2020	2.0	4.0	0.0	0.3	1.0	1.0	0.3	45.2	19.1	21.1
	2019	5.0	5.5	0.0	0.3	1.8	1.0	0.3	44.9	19.6	20.4
	2018	5.0	5.0	0.0	0.0	2.8	0.3	0.8	46.8	18.7	21.4
	2017	2.0	4.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	44.2	20.1	20.8
	2016	3.5	5.0	0.1	1.0	0.5	0.5	0.3	45.1	20.4	19.2
	2015	5.0	7.0	0.1	0.8	1.5	0.4	0.3	47.8	17.6	21.7
	2014	2.0	2.0	0.0	0.0	0.6	0.5	0.0	45.1	19.9	21.4

注) 等級は1等上中下、2等、3等、特定加工合格、規格外の7段階で示す。

病害等は、無、少、中、多、甚の5段階で評価した。

粗タンパク質含有率は、近赤外分光分析により、換算係数6.25を乗じた。

令和7年度夏作期間気象表 (宇佐)

月	半旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (h)		
		本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比	本年	平年	比
6月	1	19.9	20.7	-0.8	25.4	26.5	-1.1	14.1	15.9	-1.8	17.0	21.7	78	34.9	29.9	117
	2	20.7	21.4	-0.7	24.0	26.7	-2.7	17.8	17.4	0.4	129.5	22.1	586	6.4	26.4	24
	3	22.9	22.0	0.9	26.7	26.9	-0.2	20.3	18.1	2.2	47.0	28.8	163	4.9	24.1	20
	4	26.1	22.9	3.2	32.6	27.9	4.7	20.4	18.9	1.5	0.0	58.0	0	38.7	25.0	155
	5	26.2	23.3	2.9	30.4	27.7	2.7	23.3	20.1	3.2	52.5	62.8	84	4.0	18.8	21
	6	27.4	24.4	3.0	33.2	29.1	4.1	22.3	21.3	1.0	0.0	59.2	0	45.8	18.7	245
7月	1	28.4	25.4	3.0	33.6	29.8	3.8	24.1	22.1	2.0	0.0	65.3	0	43.2	20.4	212
	2	29.3	25.7	3.6	34.6	30.2	4.4	24.7	22.4	2.3	0.0	86.8	0	50.3	22.8	221
	3	27.8	26.2	1.6	32.2	31.0	1.2	23.7	22.9	0.8	9.5	42.3	22	30.4	24.4	125
	4	28.0	26.8	1.2	32.4	31.7	0.7	26.6	23.2	3.4	4.0	30.5	13	33.7	30.2	112
	5	29.2	27.5	1.7	34.8	32.8	2.0	24.3	23.7	0.6	0.0	20.2	0	59.7	34.5	173
	6	29.3	27.6	1.7	34.8	32.9	1.9	25.0	23.9	1.1	0.0	18.3	0	66.7	44.8	149
8月	1	29.1	28.2	0.9	34.9	33.5	1.4	24.3	24.3	0.0	2.5	16.6	15	42.8	38.9	110
	2	27.7	28.3	-0.6	31.6	33.9	-2.3	24.6	24.4	0.2	104.0	29.1	357	12.5	37.4	33
	3	27.9	27.8	0.1	32.6	33.2	-0.6	24.5	24.2	0.3	58.0	31.1	186	33.7	34.8	97
	4	28.3	27.5	0.8	33.9	32.9	1.0	23.9	23.9	0.0	0.0	23.8	0	49.1	34.5	142
	5	28.8	27.3	1.5	34.2	32.7	1.5	24.5	23.6	0.9	0.0	17.4	0	39.3	33.4	118
	6	28.3	26.4	1.9	34.3	31.5	2.8	24.5	22.9	1.6	43.0	47.6	90	48.6	38.6	126
9月	1	27.9	25.5	2.4	32.6	30.6	2.0	24.0	22.2	1.8	24.5	23.9	103	39.4	30.0	131
	2	27.9	25.1	2.8	32.5	30.2	2.3	24.0	21.6	2.4	11.5	36.0	32	37.0	31.1	119
	3	27.8	24.6	3.2	33.3	29.7	3.6	24.5	21.2	3.3	3.5	25.6	14	26.5	28.8	92
	4	26.1	23.6	2.5	31.3	28.6	2.7	22.6	20.0	2.6	41.5	48.3	86	27.4	30.3	90
	5	24.8	22.2	2.6	29.8	27.3	2.5	21.6	18.3	3.3	1.5	25.3	6	21.1	28.5	74
	6	24.2	21.7	2.5	28.8	26.7	2.1	20.1	17.9	2.2	1.0	31.0	3	20.7	28.8	72
10月	1	22.9	20.9	2.0	27.5	26.2	1.3	19.3	16.8	2.5	12.0	16.2	74	23.9	30.8	78
	2	23.6	19.6	4.0	28.9	24.8	4.1	18.9	16.7	2.2	0.5	17.2	3	44.8	28.8	156
	3	24.0	19.0	5.0	29.8	24.5	5.3	19.6	14.4	5.2	10.5	13.8	76	35.1	31.6	111
	4	23.0	17.3	5.7	27.1	23.1	4.0	19.9	12.7	7.2	18.5	27.4	68	18.8	31.8	59
	5	21.7	17.1	4.6	25.5	22.7	2.8	19.0	12.6	6.4	18.5	20.9	89	17.8	29.8	60
	6	15.2	15.6	-0.4	20.2	21.3	-1.1	10.1	10.8	-0.7	18.0	8.1	222	37.5	34.5	109
11月	1	14.5	14.6	-0.1	20.0	20.6	-0.6	9.8	9.6	0.2	0.5	16.3	3	20.9	30.8	68
	2	15.6	14.5	1.1	21.1	20.2	0.9	9.7	9.6	0.1	1.5	7.5	20	34.1	26.8	127
	3	12.6	13.3	-0.7	18.9	18.7	0.2	7.2	8.5	-1.3	0.0	11.5	0	22.5	26.0	87
	4	11.5	11.6	-0.1	17.1	17.0	0.1	6.1	6.8	-0.7	0.0	11.1	0	26.0	24.4	107
	5	11.6	11.1	0.5	18.8	16.7	2.1	5.8	6.2	-0.4	3.5	7.1	49	34.9	25.7	136
	6	11.3	10.8	0.5	18.5	15.9	2.6	5.4	5.9	-0.5	3.5	10.0	35	32.8	20.4	161

注1) 平年値は1995～2024年の30年間の平均値を示す。

令和7年度夏作期間気象表 (宇佐)

